

二階堂たけふみ市政報告

発行：二階堂たけふみ後援会 <http://nikaidou.net>
福島市町庭坂字内町51-2 TEL024-591-1138

昨年春以降、1日会期の緊急会議を5回開催してスピード審議

1月18日には新型コロナウイルス支援策〈第9弾〉を議決

3月1日まで「事業者営業継続緊急支援」を受付中

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、市議会では1月18日には新型コロナウイルス支援策へ第9弾を議決しました。

昨年春以降、年4回開催の通常会議に加えて、緊急会議を5回開催して支援策のスピード



12月定例会議での一般質問。アクリル板越しなので反射しています

ド審議を行ってきました。私も経済民生常任委員会委員長として、支援策の第3の柱である地域経済対策①事業者緊急支援②地域経済回復の施策の審議において、7名の委員と共に効果的な支援策を議

論し、委員長報告にまとめ、議会としてスピード感を持って議決してきました。

12月定例会議・一般質問の報告

ひきこもり問題等3つを提起!!

市営墓地・霊園の在り方の検証が必要

最初に、市内5カ所にある福島市営墓地と新山霊園の現況、課題について質問しました。

市営墓地5カ所に係る令和元年度の維持管理費は総額約598万円掛かっていますが、

新山霊園を除く、御山、岩谷、渡利、天王寺の各墓地については、年間管理料は未設定です。また、答弁の中で費用をかけて手続きを終えた「無縁墓」がその後

もそのままの状態です。今後、受益者負担の原則を下に、墓地によつ

今回の支援策へ第9弾は、第3の柱・地域経済対策では、売り上げが急減した事業者への営業継続支援で、詳細の問い合わせは専用コールセンター（無休、午前9時から午後5時まで、☎0120・916・509）まで

お願いします。また、感染防止対策では、①高齢者等入所施設における感染防止対策強化②飲食店における感染防止対策強化③事業者の感染防止対策等の支援、④PCR検査費用・医療費の追加などがあります。

お願ひします。また、感染防止対策では、①高齢者等入所施設における感染防止対策強化②飲食店における感染防止対策強化③事業者の感染防止対策等の支援、④PCR検査費用・医療費の追加などがあります。

ては遅れている安全安心面での整備とともに、市営墓地・霊園が福祉的観点を重視した公共の施設として扱われているのか、検証が必要なの時期を迎えていると思います。

ひきこもり問題 窓口一本化を!

次に、引きこもり支援を中心に質問をしました。

現在、福島市では担当所管ごとに「ひきこもり家族教室」、ユースプレイス自立支援事業、今年度スタートした若者自立支援仕事体験事業などが取り組ま

れています。それぞれの現状を伺うとともに、今回、特に深刻な社会問題となっている「8050（はちまる・ごまる）問題」、ひきこもり子どもの中高年化について、本市の現状と課題解決に向けた取り組みについて質問をしました。多くの場合、悩みを抱え、ひきこもっている方は、自ら支援を求めようとはせず、また、その家族も相談しにくい傾向が見受けられます。行政からの情報発信の強化が必要です。さらに、問題を抱え

る市民目線に立つとき、相談しやすい窓口の見える化、一本化を検討すべき時期です。分かり易い体制を整え、一般には他人には相談しにくい子供のひきこもりの悩みに、行政が丁



寧に寄り添って、子どもが社会で役割を担えるところまで取り組んでいかなければなりません。

務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」(義務教育機会確保法)が公布、施行されました。改めて、国の夜間中学の設置促進・充実の目的・目標をその背景を含めて確認するとともに、本市も県の夜間中学設置検討委員会のメンバーであることから、この間の夜間中学設置検討委員会での取り組みと、市としての今後の方向性について質しました。

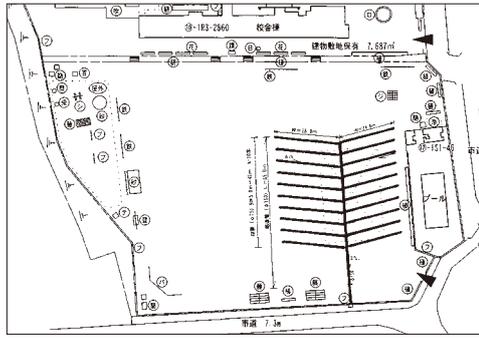
最後に、公立夜間中学の福島市への設置について質問しました。

すでに、平成27年の福島市議会12月定例会議では「公立夜間中学の整備と拡充を求める意見書」を可決して国に提出しています。それから、1年後に「義

務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」(義務教育機会確保法)が公布、施行されました。改めて、国の夜間中学の設置促進・充実の目的・目標をその背景を含めて確認するとともに、本市も県の夜間中学設置検討委員会のメンバーであることから、この間の夜間中学設置検討委員会での取り組みと、市としての今後の方向性について質しました。

暗渠工事を実施して「現状回復」へ

庭坂小のグラウンドの「水はけ問題」



以前から、地元では庭坂小学校の校庭の水はけが極端に悪くなったのは、除染の表土埋設時に、敷設してあった暗渠管を壊したためではないかとの疑問を持たれる方もいました。

昨年6月17日の庭坂小学校の学校評議員会の折、校長先生に「校庭の水はけの問題は解決したのか」とお尋ねしましたが、「まだなんです」との答えが返ってきました。

その後、担当所管を尋ね歩きましたが、「予算がない」との鈍い反応でした。情報を集める中で、最終的なカギをにぎるのは除染工事の窓口であった「環境再生推進

室」であることから、直接相談に伺いました。グラウンドの水はけが悪化した原因は、「除染作業中に誤って既存の暗渠を壊したためか」、「埋め戻しに使った山砂か」となり、調査が必要となりました。

8月27日開催の「第17回吾妻地区除染等対策委員会」の席上、環境再生推進室の報告が終わった後の「その他」のところ、吾妻地区自治振興協議会の中原利彦副会長(学校評議員)と校長先生から、この校庭の水はけ問題が出されて、今後の調査と改善が公の場で確認されました。

そして、11月下旬、環境再生推進室担当者から、「この間の調査結果を踏まえ、『現状回復として』今年度中に暗渠工事を実施することになりました」との報告をいただきました。除染による表土埋設が行われた際に、従来あった板状のドレイン(排水溝)が壊されて



しまったと思われる。写真の施設図面ではプールの西側。今回は、現状回復として、直径150mmの主管を中心にして、直径75mmの左

堰部分の嵩上げ工事が完成！

右10本の枝管を矢羽根状に敷設するものです。学校関係者とともに、合同地区民大運動会でも盛り上がる地域にとっても一安心です。

の被害に遭いました。対策の一つとして、今まで取水口付近には土嚢が積んでありましたが、今年度の大堀川の河川改修工事の計画の中で、この箇所のコンクリートによる嵩上げが決まり、昨年10月中旬には工事が完成しました(写真の新しいコンクリート部分)。

二子塚共同墓地までの2期工事完了



1月中旬、フルーツラインから二子塚共同墓地までの間の市道・南中谷地・下ノ堂線の一部の40mの道路舗装が2期目の工事が完了しました。「共同墓地までの区間が、冬期間のクルマの通行が困難であるため」と、庭塚東部区から自治振要望として出されていきました。総延長は240mということで、今後は残る160mが継続事業となります。